

エアバッグ類車上作動処理用 防護シート導入促進

2019年度事業報告

公益財団法人自動車リサイクル高度化財団

1.事業の背景、目的及び業務内容

【背景】

- 使用済自動車の再資源化等に関する法律（自動車リサイクル法）において、解体事業者は、使用済自動車（以下「ELV」）のエアバッグ類を取外回収することが義務付けられている。
- 自動車メーカー等と委託契約を締結することで、車上作動処理を行うことが認められており、取外回収に比べ作業時間を短縮でき、自動車メーカー等に引き渡すための管理も省略できる。2018年度発生のエアバッグ類付ELV約276万台の内、車上作動処理が80.1%を占めており、処理方法として定着している。
- 冠水車等について車上作動処理を行おうとすると、異常作動により筐体が破裂して車外に飛散し、作業員や事業所施設に被害を及ぼす危険がある。近年の自然災害の多発に伴い、冠水車等についても安全かつ効率的な車上作動処理を実施したいとの希望が解体事業者の間で高まっていた。

【目的】

自然災害の多発に伴って冠水車等が増加したとしても安全かつ効率的な車上作動処理を実施できる環境の整備を目指し、自動車再資源化協力機構（以下「自再協」）と製作会社（ノーベル工業株式会社）が開発を進めた、車上作動処理の作業時に簡便に使用できる「エアバッグ類車上作動処理用防護シート」の導入を促進する。

エアバッグ類車上作動処理用 防護シート導入促進

【業務内容】

〔実施事項〕

- 防護シートの開発（最終仕様の確定）：自再協及び製作会社が開発を進めた防護シート（運転席用及び助手席用で1式）の最終の仕様について三者間で確認・合意の調印を行う。
- 防護シートの普及に向けた購入費用の補助：製作会社から防護シートを購入した事業所に対し、1式分を対象に購入費用の補助を行う。補助を行うに当たっては、補助対象として適切な解体事業所であることを確認するための審査を行う。解体事業所との連絡及び審査に関しては、自再協からアドバイザーとして協力を受ける。

【購入費用及び補助の金額】

- 1式の購入費用：470,800円（消費税込み）
- 補助の金額： 400,000円

※ 以下の点を総合的に勘案し、事業者の負担額を低めに設定した。

- 補助対象者の規模： 解体業者には大規模な業者は少ない。
- 収益性の有無： 安全のための装置であり大きな利益につながるものではない。
- 製品の価格： 製品価格が50万円程度となり、大幅な補助がなければ普及は困難である。

- 事業実施期間は2019～2020年度の2事業年度とする。

エアバッグ類車上作動処理用 防護シート導入促進

〔防護シートの仕様〕

（１）防護シートのサイズ、重量、装着方法

運転席用・助手席用のセットで販売

部位	サイズ	重量	装着方法
運転席	1600 mm × 680 mm	約 3.5 kg	 ハンドルを覆い、バンドをシートバックの真ん中付近まで引きおろして固定
助手席	2600 mm × 1340 mm	約 8 kg	 助手席部分をしっかりと覆えるよう 車両フロントガラス外部にシートを 掛けドアに挟み固定

（２）防護シートの構成

- ・内装： 運転席用・・・破片等の飛散防止（車内）、助手席用・・・破片等の飛散防止（車外）
（エアバッグ類異常作動発生時に飛散する金属片が強い破壊力で車外へ飛散する可能性も考えられることから、防弾チョッキに使用されるものと同じアラミド繊維を使用。）
- ・外装： 内装シートの保護及び位置ずれの防止
（エアバッグ作動時の発熱に鑑みて難燃材料を使用。また撥水加工済み。）

2.2019年度の結果

2-1.購入、納品、補助の状況

- 対象の1,317事業所のうち63事業所から3月3日までの入金を確認
(申込みがあった事業所のうち2事業所は下記理由で保留または購入対象外
 - ✓不適正事案に鑑み車上作動契約継続について検討中・・・1事業所
 - ✓現在取外回収のみで作動処理契約がないため対象外・・・1事業所)
- 上記63事業所へノーベル工業から3月4日までに防護シートを発送
- 自再協での入金確認の翌週末に高度化財団から補助金を振込

エアバッグ類車上作動処理用 防護シート導入促進

2-2.購入事業所の内訳

(申込時期)

申込時期	事業所数
初回の周知（2019年12月）から再周知①（2020年1月）の前	39
再周知①（2020年1月）から再周知②（2020年2月）の前	16
再周知②（2020年2月）の後	8

〔3回の周知の概要〕

➤ 2019/12/20～12/27

販売周知実施（全車上作動契約業者にFAX）

➤ 2020/1/15～1/31

再周知①実施（108事業所に再FAX、車上作動台数上位60事業所にTEL）

対象：2018年12月に購入希望事前アンケートで購入希望と回答した133事業所で未購入の事業所にFAX

※ 未購入だった理由をヒアリング

➤ 2020/2/3～2/10

再周知②実施（195事業所に再FAX、車上作動台数上位151事業所にTEL）

対象：直近3か年で車上作動監査優秀事業所として自再協が公表した事業所で、未購入かつ再周知①を実施していない195事業所にFAX（優秀事業所であったことから優先的に再周知を実施）。

エアバッグ類車上作動処理用 防護シート導入促進

2-2.購入事業所の内訳（続き）

（地域）

都道府県	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県
購入事業所	4	0	0	4	1	1	0	4	2	1	2	5	2	3	3	0
車上作動処理契約事業所	89	25	22	34	19	16	42	41	35	21	53	80	18	48	30	15
比率	4.5%	0.0%	0.0%	11.8%	5.3%	6.3%	0.0%	9.8%	5.7%	4.8%	3.8%	6.3%	11.1%	6.3%	10.0%	0.0%

都道府県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県
購入事業所	0	0	1	0	2	1	0	1	0	1	0	3	0	1	2	0
車上作動処理契約事業所	13	8	14	25	35	32	65	34	10	32	26	43	10	14	10	7
比率	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	5.7%	3.1%	0.0%	2.9%	0.0%	3.1%	0.0%	7.0%	0.0%	7.1%	20.0%	0.0%

都道府県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合 計
購入事業所	2	0	0	0	0	1	0	3	1	1	0	0	2	3	6	63
車上作動処理契約事業所	21	28	19	9	19	21	11	50	13	18	26	25	27	26	38	1,317
比率	9.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%	6.0%	7.7%	5.6%	0.0%	0.0%	7.4%	11.5%	15.8%	4.8%

エアバッグ類車上作動処理用 防護シート導入促進

2-2.購入事業所の内訳（続き）

（規模）

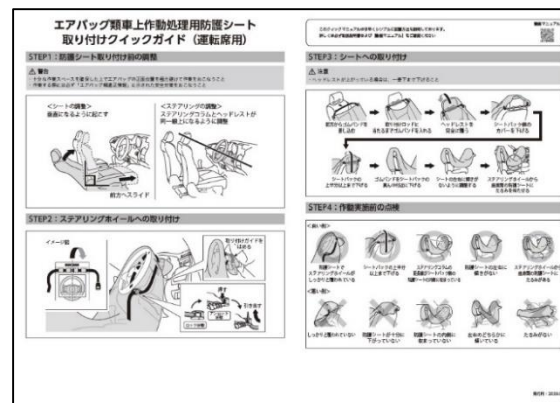
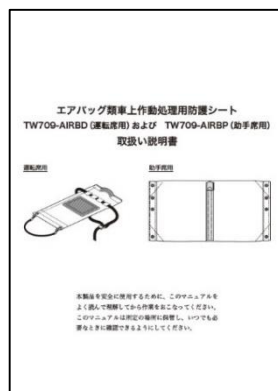
車上作動処理台数（直近12ヶ月）	事業所数
超大規模…5000台～／年	22/136
大規模…500～4999台／年	27/456
中規模…100～499台／年	8/366
小規模…99台以下／年	6/359

エアバッグ類車上作動処理用 防護シート導入促進

2-3.取扱説明書・クイックマニュアル、説明用動画の制作

防護シートを安全に使用するためには、正しい方法で使用する必要があることから、納品の際に取扱説明書及びクイックマニュアルを同梱するとともに、説明用動画を自再協のウェブサイトに掲載して当該動画を参照する際に使用するQRコードをクイックマニュアルに掲載した。

- 取扱説明書（A4判20ページ）、クイックマニュアル（A3判両面）



- 説明用動画



3.2020年度の状況

3-1.2020年度の取組・・・更なる販売促進活動の実施

- 販売促進チラシ作成・周知実施（7月）
- 解体組合への製品紹介（7月）
- 自再協HP掲載（8月）
http://www.jarp.org/duties/protective_sheet_movie.html
- 監査訪問時、資料案内による販売促進（8月～）
- 購入業者へのヒアリングによる訴求ポイントの洗い出し（9月～）

3-2.普及の状況

- 7月に車上作動処理委託契約事業所に申込再開の通知を実施
- 上記の通知の後、8事業所が購入（10月15日現在）
⇒ 2019年度からの通算で71事業所が購入